

# 所 報

第 43 号 2001年3月発行  
 発行人 津嘉山 朝 祥  
 発行所 沖縄県立教育センター  
 〒904-2174 沖縄県沖縄市字与儀 587 番地  
 電 話 098-933-7555

たのしかったよ！！ 温かかったよ！！

体験活動交流会 担当 辺土名 則子（教育相談研究室）

平成 13 年 1 月 23 日（水）に教育センターで、県内の適応指導教室に通う児童生徒を対象に、体験活動交流会を実施しました。教育センターを総合的に活用した交流会は昨年に続いて 2 回目となります。県内の適応指導教室のうち 9 か所から小学生 21 名、中学生 57 名、高校生 3 名計 81 名の参加者があり、意欲的に活動に取り組み、有意義な交流会を持つことができました。

ここに体験活動の内容や様子を紹介します。産業教育課と情報処理教育課においては最新の機器を活用した体験教室が開かれました。児童生徒にじっくりと時間をかけて最新の機器を体験してもらったためあらかじめ準備された選択メニューから児童生徒が 1 つを選んで取り組めるようにしました。

- 1 パソコンで遊ぼう（情報処理教育課）
- 2 キャラクターデザイン（産業教育課）
- 3 取り木・接ぎ木の体験学習（産業教育課）
- 4 写真を合成してポスターをつくろう（産業教育課）
- 5 ロボット体験（産業教育課）
- 6 速成酸乳飲料を作ろう（産業教育課）

### 児童生徒の感想

鍋をあっためて温度をはかったり、酸乳とか入れたりすることなんてめったにできないから体験できてよかった。



速成酸乳飲料を作ろう

「おもしろ科学教室」では、理科研修課や教育経営研修課の所員・研修員によって、多目的ホールに観察・実験・製作などの活動ができるよう 13 の体験コーナーが設けられました。児童生徒は、科学的な遊びに夢中になって取り組んでいました。

- 1 シャボン玉に入ろう
- 2 静電気で壁をついてしらべよう
- 3 ドライアイスで遊ぼう
- 4 フィルムケースで笛をつくろう
- 6 シンクをぬぐって遊ぼう
- 7 シンクがとれるかな？
- 8 水素で大爆発飛ばそう
- 9 紙飛行機を飛ばそう
- 11 いろいろなコースター
- 12 スライム・スライム・スライム
- 13 室内ブーメラン

### 児童生徒の感想

一カ所にずっといました。細かい作業をして疲れたけど、友だちができておもしろかった。



シャボン玉に入ろう

今年は、昼食に保護者や所員・研修員が頑張っておでんとカレーライスを作りました。児童生徒は、親の参加や温かい昼食に大喜びで 200 食分の昼食がたちまちのうちになくなりました。

### 児童生徒の感想

前日から作ったと聞いて、大変だったろうなと思ったけど、おいしかったのでまた作ってほしいです。ありがとうございます！！おなかいっぱい食べました。



ランチタイム

### 目 次

体験活動交流会	.....	1
プロジェクト研究「小中高生の保護者2000人を対象に調査」	.....	2
平成12年度統計資料「研修事業，教育相談，心の電話，障害児教育相談」...	.....	3～7
県立教育センターホームページの紹介，生徒実習	.....	8～10
平成12年度後期・1年長期研修員「研修テーマ」一覧	.....	10～12

# よく努力する児童生徒の保護者には共通した特徴がある

教科研修課 狩俣 智(算数・数学研究室主事)

## 本プロジェクト 小中高生の保護者2000人を対象に調査

教育センターでは、本県の小中高校生の保護者2370人を対象にアンケートを実施し、「ねばり強く努力する児童生徒」の保護者の特徴を調査しました。

調査では、アンケートに回答していただいた2000人余の保護者を、「よく努力する児童生徒の保護者」と「あまり努力しない児童生徒の保護者」に分け、両者を統計的手法を用いて比較しました。

その結果、「よく努力する児童生徒の保護者」は、「あまり努力しない児童生徒の保護者」に比較して、「努力に注目した褒め方をすることが多い」、「将来の職業や進路について子供との対話が多い」、「子供に家事の手伝いをさせることが多い」などの特徴があることが明らかになりました(図参照)。

この他、「よく努力する児童生徒の保護者」と「あまり努力しない児童生徒の保護者」では、職業選択に際しての条件や期待などの「職業志向」も異なることが明らかになりました。詳しくは、報告書『児童生徒の進路に対する保護者の意識/努力する児童生徒を育むために』(平成13年3月)をご覧ください。

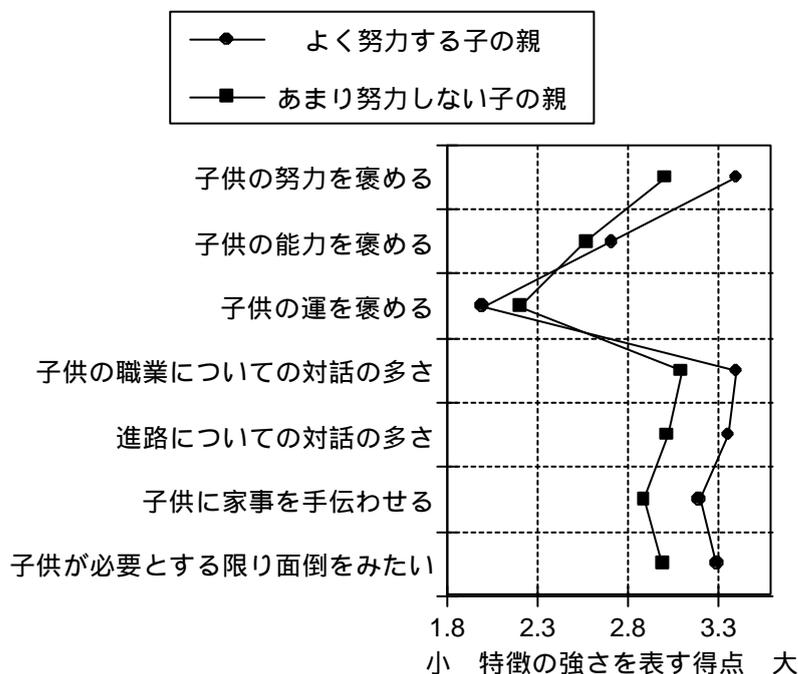


図1 よく努力する児童生徒の保護者の特徴

得点は4段階評定の平均点です。得点が高さが傾向の強さを表しています。

「子供の能力を褒める」は統計上の差はありません。

# 平成12年度統計資料

## < 研修事業 >

研修事業は、長期研修と短期研修に区分して計画実施し、昭和62年度からは宮古、八重山地区の離島で短期研修として移動教育センターを開設しています。

また、平成4年度より両地区において離島長期研修制度も発足し、平成12年度の研修員は生活1名、算数・数学1名、特別活動1名、初等理科1名の計4名でした。

### (1) 年度別長期研修者

担当課	S62以前	63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	合計
教科・経営	833	96													929
教科研修			54	73	76	80	73	75	37	42	46	46	42	44	688
教育経営研修			40	65	72	71	76	67	43	42	48	40	38	30	632
理科研修	411	29	32	45	30	30	27	27	19	18	18	20	17	18	741
情報処理教育	21	12	13	16	21	22	22	22	15	16	18	19	17	15	249
特殊教育			7	10	13	15	13	13	9	10	10	10	10	12	132
農業教育分室				2	1	2	2	2	2	2	2				15
産業教育												12	14	12	38
計	1265	137	146	211	213	220	213	206	125	130	142	147	138	131	3424

### (2) 年度別短期研修講座数・受講者数

担当課	S62以前	63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	合計
教科・経営	933	74													807
教科研修			32	22	20	19	20	20	20	21	21	14	18	16	243
教育経営研修			27	21	20	20	19	21	22	18	18	7	6	6	205
理科研修	331	18	18	11	13	13	15	16	14	14	15	9	7	8	502
情報処理教育	73	7	6	6	6	4	4	6	6	6	6	6	6	5	147
特殊教育			21	21	22	24	26	22	21	19	21	8	5	5	215
移動教育センター	4	4	2	49	54	58	34	34	31	28	19	10	8	10	345
農業教育分室				4	2	4	4	2	2	2	2				22
産業教育												6	15	17	38
計	1141	103	106	134	137	142	122	121	116	108	102	60	65	67	2524
教科・経営	13400	1206													14606
教科研修			537	241	314	260	368	273	248	317	292	448	573	550	4421
教育経営研修			573	403	360	352	285	334	331	331	306	266	163	198	3902
理科研修	13919	406	259	229	188	198	219	243	236	289	225	212	147	192	16962
情報処理教育	1984	179	115	112	93	81	78	95	78	82	93	178	196	204	3568
特殊教育			218	149	298	299	447	396	314	282	318	150	113	195	3179
移動教育センター	80	80	58	447	565	528	338	197	171	166	216	240	182	138	3406
農業教育分室				61	37	23	43	34	17	26	18				259
産業教育												68	152	152	372
計	29383	1871	1760	1642	1855	1741	1778	1572	1395	1493	1468	1562	1526	1629	50675

< 教育相談 >

教育相談研究室では、教育センターの事業の一つとして、児童生徒、父母、教師などから教育相談を受けている。平成12年度の相談件数、内容等は次の通りである。

(1) 教育相談受理件数 ( ) は延べ件数

	電話相談	来所相談	訪問指導	計
園児	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
小学生	20(20)	7(9)	0(0)	27(29)
中学生	22(24)	12(31)	0(0)	34(55)
高校生	31(35)	15(45)	0(0)	46(80)
計	73(79)	34(85)	0(0)	107(164)

「平成12年4月1日～平成13年2月28日」

(2) 相談内容 ( ) は比率

相談内容	不登校	非行	性格行動	学校生活	その他	計
園児	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
小学生	15(55.6)	0(0)	4(14.8)	3(11.1)	5(18.5)	27(100)
中学生	17(50.0)	6(17.6)	1(2.9)	7(20.6)	3(8.8)	34(100)
高校生	33(71.7)	2(4.3)	4(8.7)	5(10.9)	2(4.3)	46(100)
計	65(60.7)	8(7.5)	9(8.4)	15(14.0)	10(9.3)	107(100)

(3) 相談者内訳 ( ) は比率

	父親	母親	教師	本人	その他	計
園児	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
小学生	5(13.2)	20(52.6)	7(18.4)	5(13.2)	1(2.6)	38(100)
中学生	1(1.3)	44(57.9)	2(2.6)	21(27.6)	8(10.5)	76(100)
高校生	6(5.3)	54(47.4)	12(10.5)	39(34.2)	3(2.6)	114(100)
計	12(5.3)	118(51.8)	21(9.2)	65(28.5)	12(5.3)	228(100)

(4) 相談対象者男女別 ( ) は比率

	男子	女子	計
園児	0(0)	0(0)	0(0)
小学生	12(44.4)	15(55.6)	27(100)
中学生	17(50.0)	17(50.0)	34(100)
高校生	22(47.8)	24(52.2)	46(100)
計	51(47.7)	56(52.3)	107(100)

(5) 不登校の男女別内訳 ( ) は比率

	男子	女子	計
園児	0(0)	0(0)	0(0)
小学生	8(47.1)	9(52.9)	17(100)
中学生	11(64.7)	6(35.3)	17(100)
高校生	14(42.4)	19(57.6)	33(100)
計	33(49.3)	34(50.7)	67(100)

(6) 不登校についての相談 (要因別件数)

要因	幼児	小学生	中学生	高校生	計
家族・親子関係	0	4	3	4	11
友人関係(含む:孤立,いじめ)	0	4	7	16	27
きびしいしつけ	0	3	0	0	3
過保護・溺愛	0	2	0	2	4
教師との関係	0	0	0	0	0
身体コンプレックス(肥満等)	0	0	2	0	2
学業不振,学習不適応	0	3	1	1	5
その他	0	1	4	10	15
計	0	17	17	33	67

## (7) 国頭地区，宮古地区，八重山地区出張教育相談

地 区	対象児童生徒				相 談 内 容						相 談 者 内 訳				
	小学生		中学生		不登校		心身障害		その他		父親	母親	教師	本人	その他
	男子	女子	男子	女子	小学	中学	小学	中学	小学	中学					
国頭地区	3	2	5	6	4	7	0	0	2	3	2	11	12	2	0
宮古地区															
八重山地区															

\* 平成 12 年度は宮古地区八重山地区からの要請が無く相談件数無し。

## &lt; こころの電話 &gt;

「こころの電話」では，体，こころ，学習，進路，生活などあらゆる面での悩み，不安の相談に応じています。平成 12 年度「こころの電話」に寄せられた内容，件数等は，次の通りです。

## (1) 月別相談日数と相談件数（平成 11 年 4 月 1 日～平成 12 年 2 月 28 日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1 日平均
相談日数	20	20	21	20	22	19	21	20	20	19	19	/	221	
相談件数	66	86	90	88	63	72	88	85	65	63	68	/	834	3.77

## (2) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
身体・精神	86	男女交際	28
知能・学業	14	結婚問題	0
性 格 ・ 行 動	不登校	育児・しつけ	39
	夜遊び	夫婦問題	40
	家出・外泊	性の問題	37
	酒・喫煙・シンナー	人生問題	17
	盗み・万引き	教育一般	13
	暴力・いじめ	社会一般	31
	その他（うそ・怠学等）	家族問題	82
学校生活	74	その他	200
進路・適性	25		
友人関係	29	合 計	834

## (4) 相談者内訳

相談者	人数	%
父 親	29	3.5
母 親	384	46.0
親 戚	24	2.9
教 師	18	2.2
幼稚園	0	0
小学生	8	1.0
中学生	38	4.6
高校生	40	4.8
大学生	19	2.3
勤少年	0	0
一 般	274	32.9
計	834	100

## (3) 相談対象者内訳

相談対象者	修学前	小学生	中学生	高校生	大学生	勤少年	その他
人 数	46	133	188	114	28	1	325
%	5.52	16.0	22.6	13.7	3.4	0.1	39

## < 障害児教育相談 >

特殊教育課（特殊教育センター）では、障害のある（疑いを含む）乳幼児，児童生徒の保護者や関係者に養育・教育及び就学等に関するさまざまな問題や悩みについての相談や嘱託医による医療相談を実施しています。

本年度実施した 来所相談， 電話相談， 特殊教育諸学校に相談員として委嘱した就学相談員による相談，及び巡回就学・教育相談の実績は，次の通りです。

### 1 来所・電話相談及び就学相談員による相談

(1) 相談区分別相談総数

(平成12年4月1日～平成13年1月31日)

区 分	相談件数	相談回数	備 考
来 所 相 談	65	106	・電話相談の件数は，電話相談のみの件数 ・就学相談員は，盲学校・聾学校知的障害及び肢体不自由養護学校13校に13名配置
電 話 相 談	50	88	
就学相談員による相談	160	262	
合 計	275	456	

(2) 相談区分別にみた相談主訴と相談回数

相談主訴内訳 相談区分	養育	障害・発達の状態	就園・就学・転校	学校教育	早期教育	進路	視・聴・心理検査	言語・機能訓練	その他	相談回数合計	備 考
	来 所 相 談	29	12	11	17	0	0	22	9	6	
電 話 相 談	14	10	21	13	2	1	13	8	6	88	
合 計	43	22	32	30	2	1	35	17	12	194	

就学相談員による相談

相談主訴内訳 区 分	相談全般	各種訓練	学校見学	体験入学	相合 相談 回数計	備 考
来 校 相 談	54	92	85	9	240	・訪問相談は相談員が依頼文書を受けてその場所に出向いて行う相談
電 話 相 談	15	0	1	0	16	
訪 問 相 談	2	4	0	0	6	
合 計	71	96	86	9	262	

(3) 相談区分別にみた相談対象年齢

相談区分 \ 年齢	0～3歳	3～6歳	6～12歳	12～15歳	15～18歳	18歳～	不明その他	合計	備考
来所相談	0	10	36	11	4	2	2	65	
電話相談	4	9	19	10	4	3	1	50	
就学相談員による相談	30	81	45	4	0	0	0	160	
計	34	100	100	25	8	5	3	275	

2 障害児巡回就学・教育相談

障害別 年齢	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	情緒障害	重複障害				その他	総計
								視覚知的障害	聴覚知的障害	肢体知的障害	その他		
2歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3歳	0	0	5	2	0	1	2	0	0	1	0	0	11
4歳	0	2	16	12	0	4	9	1	0	1	3	1	49
5歳	1	0	35	8	1	6	14	0	0	0	8	1	74
6歳	0	1	15	2	0	3	4	0	0	0	1	0	26
7歳以上	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
計	2	3	74	25	1	14	30	1	0	2	12	2	166

平成13年度も特殊教育課(特殊教育センター)において来所相談、電話相談、就学相談員による相談、及び巡回就学・教育相談会(11～14会場予定)を実施します。お気軽にご相談ください。

詳しいお問い合わせは

沖縄県立教育センター 特殊教育課

098-933-7526(内線505)



教育委員会、県内諸学校、社会教育関連の諸機関

### 初任者研究室紹介

<研究室の業務紹介>  
 ○教師として要求される実践的指導力や使命感を養うととも幅広い知見を得させることを目的に小中学校・県立学校の教育センターにおける初任者研修の企画運営を行っています。

<講座紹介>  
 1 研修講座(詳細は下記の表を参照)  
 ○小中学校(年6日間)  
   国際理解教育、生涯学習  
 ○高等学校(年30日間)  
   宿泊研修、体験的研修、教科指導・生徒指導などの研修  
 ○特殊教育諸学校(年30日間)  
   宿泊研修、体験的研修、教科指導・生徒指導などの研修

小中学校

月日	曜	場 所	時 間	講 題	項 目	内 容
5・17	木	県立教育センター	14:00 開 始	特別 授業	進路指導の意義と実践	特別活動の意義と内容 進路指導の進め方 高認研修発表及び賞状・賞状
5・31	木	県立教育センター	14:00 開 始	表 参 照	個に応じた学習指導の 進め方と評価	学習指導の基本的な考え方 個に応じた学習指導の進め方 学習評価の基本的な考え方 高認研修発表及び賞状・賞状
8・8	木	県立教育センター	8:00 開 始	総合学習 基礎的授業	総合学習の時間の 進め方 基礎的授業	総合学習の目的と進め方 基礎的授業の意義 評価・実証事例・賞状・賞状
8・10	土	県立教育センター	8:00 開 始	基礎的授業 情報教育	授業法の理論と教育 情報教育	授業法と学級教育 高認研修発表及び賞状・賞状 教育課程と情報活用能力 高認研修発表及び賞状・賞状

初任者研究室紹介と研修日程

The image shows a website navigation menu with several items: 研究資料, 研修資料, データベース, 研修時間表, 学校紹介, リンク, and TOP. The item '指導案・実践事例集' is circled in blue. Below the menu, there are links for '資料1-1' and '資料1-2', each with a list of links for '1年', '2年', '3年', '4年', and '5年'.

指導案・実践事例リンクページとPDF形式によるワークシートの表示・印刷帳票

The image shows a web page titled '~合同学習~ 第1回'. It features a search bar with the text 'めい' and a 'しるべるコーナー' (Index Corner) with the text 'どうすればくらげはるの?' and two snake illustrations labeled 'コブラっち' and 'ハブっち'. The page also has a navigation bar at the top with the same menu items as the previous screenshot.

## < 生徒実習 >

本年度の情報処理教育センターと産業技術教育センターにおける生徒実習の実績は次の通りです。

### (1) 生徒実習

	情報処理教育センター		産業技術教育センター	
	学校数	延べ人数	学校数	延べ人数
商業	1	62	4	1032
工業	3	451	8	1679
農業	0	0	5	213
普通	2	69		
中学校	1	244	1	244
小学校				
その他	2	42	2	70
計	9	868	20	3238
総計	学校数, 29		生徒数, 4106	



生徒実習風景

### (2) 実習項目

	情報処理教育センター	産業技術教育センター
項目	インターネット・電子メール ホームページ作成 Windows 入門 文書作成入門 DTP入門 DTP応用 表計算ソフトの利用 データベースソフトの利用 プレゼンテーション技法 マルチメディア編集	細胞融合 水耕栽培 バイオ基礎講座 食品分析 土壌・植物分析 アーク溶接ロボット 新素材(人工宝石・セラミック) CAD/CAM実習 総合生産システム 光造形 レーザ加工機 3次元画像入力装置 ビデオメール・グループウェア 電送・テレビ会議 シーケンス制御 GPS測量 ISDN・FAX通信 画像処理・テレビ インターネット技術 CAD技術(アパレル, 建築, 土木, 電子技術)

## 平成12年度 特別研修員「研修テーマ」一覧 (研修期間 4月1日～3月31日)

課	氏名	勤務校	研究室	研究テーマ
特別研修員	宮城 康人	具志川中	初任者研修	初任者研修の効果的な実施に関する研究
	山田 保	球陽高		
	比嘉 葉子	馬天小	適応指導教室	不登校児童生徒の継続的適応指導の在り方について －日常的活動の充実通して－
	石垣 有三	球陽高	教育ソフト開発	LAN環境での校務処理ソフト開発と学校業務改善への基礎研究 －校内LANでのコミュニケーション機能強化と栄養管理ソフトの開発及び運用支援体制について－

## 平成12年度 1年 長期研修員「研修テーマ」一覧

(研修期間 4月1日～3月31日)

課	氏名	勤務校	研究室	研究テーマ
教育経営 研修課	山内 たづみ	北美小	教育相談	リレーションを深める学級集団づくりの工夫
	安慶田 正人	大宜味小	へき地	小人数学級における自ら学び,互いに高め合う横断的な学習指導の工夫
	高木 眞治	兼城小	へき地	自ら課題を見だし探求する子を育てる「総合的な学習の時間」の指導の工夫
	細川 佳美	糸満小	へき地	進んで学ぶ子を育てる複式学習指導の工夫
	新城 牧子	神森中	進路指導	夢や希望の実現を目指す進路指導の工夫
	富永利恵子	古蔵中	教育相談	生徒の心の居場所づくりをめざした教育相談の工夫
	仲田 洋一	球陽高	進路指導	自己理解を深め進路意識を高める進路指導の工夫
	添石 邦男	八重山商工	教育相談	進路指導との機能的統合を図る教育相談の在り方
理科 研修課	知念 靖	諸見小	初等理科	身近な自然を大切にする環境学習の工夫
	田島 文彦	糸満南小	地学	感性と理性が共働して実感できる授業の工夫
	金城 通彦	北谷小	物理	科学的思考力を育てる指導の工夫
	上江田 賢也	鏡原中	生物	「食物連鎖」における分解者の指導の工夫
	市根井 真紀	読谷中	化学	主体的に学習する態度を育てる指導の工夫
情報処理 教育課	屋良 朝俊	大里北小	情報教育	学校におけるコンピュータの活用
	中山 幸裕	北中城中	情報教育	学校におけるコンピュータの活用
	高良 一實	沖縄工業	情報教育	コンピュータを利用した教材開発
	祝 嶺 秀幸	具志川高	情報教育	教育ソフトの開発
	石垣 忍	石川高	情報教育	学校におけるコンピュータの活用
	糸数 里奈	宜野座高	情報処理	コンピュータを利用した教材開発
	玉那覇 哲	名護高	情報処理	教育ソフトの開発
	仲宗根 正	高等養護	情報教育	コンピュータを利用した教材開発
産業技術 教育課	東江 直樹	北部農林	バイオ生産	バイオテクノロジーを取り入れた教材開発
	嘉陽 誠	北部農林	バイオ生産	科目「生物工学」における教材開発
	新垣 次子	沖縄水産	分析システム	海洋深層水の基礎的研究
	又吉 康彦	北部工業	新素材	数値制御(NC)工作機械の活用
	川平 清	沖縄工業	新素材	数値制御(NC)工作機械の活用
	仲松 博	宮古工業	総合生産	総合生産システム(FMS)の活用
	平良 安枝	中部商業	ビジネスシステム	科目「商業デザイン」に関する学習指導の工夫
	松島 良典	那覇商業	ビジネスシステム	科目「情報管理」における教材開発
	上原 章作	那覇工業	通信・制御	FA(Factory Automation)システムの活用
	玻名城 功	中部工業	通信・制御	校務処理システムを組み込んだLANの構築
	大城 裕	那覇工業	マルチ・ネット	LAN構築基礎実習の手引書作成
	金城 健栄	八重山商工	マルチ・ネット	マルチメディア教材の開発
特殊	植村 好孝	大平養護	教育相談	障害児の教育相談の在り方 一県立教育センター特殊教育課における教育相談の現状と課題
	呉屋 光広	美咲養護	情報教育	知的障害養護学校における情報機器の活用

## 平成12年度 後期 長期研修員「研修テーマ」一覧

(研修期間 10月1日～3月31日)

課	氏名	勤務校	研究室	研究テーマ
教育経営研修課	山内昌紀	美崎小	道徳	豊かな心を育む道徳授業の工夫
	照屋初美	馬天小	経営	認め合い、ともに成長する児童を育てる学級経営の工夫
	新垣桂	南原小	特別活動	一人一人のよさや可能性を伸ばす学級活動の指導の工夫
	田代啓子	大本小	へき地	複式学級における豊かな表現力を育てる学習指導の工夫
	垣花正人	小禄中	特別活動	自発的、自治的な活動を目指した中央委員会指導の工夫
	稲田清美	金城中	教育相談	互いに認め合える学級づくりをめざした教育相談の工夫
	大城孝子	金武中	教育相談	生徒の自己肯定感を高めるための養護教諭のかかわり方
	高木英行	上本部中	へき地	自己を見つめ、自己の向上を図る心を育てる道徳の授業の工夫
	仲村賢二	首里高	経営	自主的、実践的な態度を育てるホームルーム経営の工夫
桃原直子	沖縄水産	教育相談	生徒と教師の信頼関係を築く生徒指導の工夫	
教科研修課	亀島尚美	嘉手納小	国語	適切に表現する力を育てる学習指導
	上地賢治	西城小	社会	課題発見能力を育てる社会科の学習指導の工夫
	大嶺小野美	中城小	算数数学	算数のよさを感じ、生活に生かそうとする態度をはぐくむ授業の工夫
	大城まゆみ	小禄南小	算数数学	数学的な考えを生かす指導の工夫
	大城ひとみ	東風平小	生活	児童が地域に親しむ生活科の授業づくり
	宮城彰夫	山内小	英語	簡単なコミュニケーションを楽しむ英語活動の工夫
	長濱千恵子	比嘉小	健康教育	児童が自ら健康課題の解決に取り組む健康教育の工夫
	内村直子	与那原小	総合学習	一人一人が良さを発揮し、共に学ぶ子どもの育成
	新垣明美	東風平中	国語	的確に読み取る力を育てる学習指導の工夫
	山内治	真和志中	社会	思考力・判断力を育てる社会科授業の工夫
	嘉数雄信	兼城中	算数数学	課題学習による数学的な見方や考え方を育てる指導の工夫
	高江州博子	恩納中	音楽	創造的な学習活動の充実を図る指導の工夫
	渡久地勉	佐敷中	図工・美術	造形的な創造活動を高める授業の工夫
	大城秀一	安岡中	保健体育	意欲的に運動に取り組む学習指導の工夫
	金城栄子	知念中	英語	コミュニケーション能力を支えるWriting指導の工夫
	下地京子	長嶺中	健康教育	主体的に健康な生活を実践できる生徒の育成
	飯島正仁	西原中	総合学習	総合的な学習におけるコミュニケーション活動の支援の工夫
	宮城哲夫	宮古工業	社会	主体的に学ぶ公民科授業づくり
	伊禮三之	具志川高	算数数学	数学と現実世界との関連を重視した教材の工夫
	宮城一夫	本部高	図工・美術	造形的な創造活動を高める授業の工夫
城間敏生	北谷高	保健体育	自ら学ぶ力を育む学習指導と評価の工夫	
前新令子	浦添商業	英語	英語の語彙力を高める学習指導の工夫	
大里美智子	勝連幼稚園	幼児教育	ふるさと大好き、心豊かな幼児の育成をめざして	
理科研修課	山城須美	翔南小	家庭	住まい方への関心を高める課題選択学習の工夫
	島袋順正	壺屋小	地学	第4学年「月と星」の指導の工夫
	知念博文	羽地中	技術	問題解決能力を育む学習指導の工夫
	金城功	松城中	技術	問題解決能力を育てる指導の工夫
	新里朝信	浦添中	物理	選択教科「理科」における興味ある実験の工夫
幸地綾子	南部農林	化学	植物染料の教材化	
特殊教育課	中村辰子	神原小	言語障害	吃音のある児童の指導
	島尻直美	泡瀬養護	肢体不自由	想像力を高めるための美術科教育における情報機器の活用
	謝花良智	那覇養護	肢体不自由	コミュニケーション指導における補助機器の活用
	蔵根しずき	森川養護	病弱	重度重複障害児の自立活動の指導
	山本亘輝	名護養護	知的障害	自ら学び自ら取り組める音楽活動を目指して
	松田貴子	島尻養護	知的障害	個々の障害の特性に応じた自立活動における指導の工夫
宮城早希	西崎養護	知的障害	発語の困難な児童へのコミュニケーション指導	